

2024年5月14日  
日鉄物産システム建築株式会社  
代表取締役社長 生井敏夫

## 23年度業績と24年度計画について

23年度の当社の受注高は278億円(対前年度比:87.4%)、売上高は322億円(対前年度比:123.5%)で、売上高は過去最高となり、地区別では東北・東関東・九州の3地区が過去最高の受注高となった。

受注棟数は239棟、受注床面積42万㎡、一棟当りの平均床面積1,746㎡であった。

当社の販売ネットワークである「日鉄物産システム建築会」の会員数は、1,539社となった。

当社はスミスシリーズ「ティオ」「ネオ」「トレオ」の3商品で建築主の要望に幅広く対応しているが、その中でも2階建のニーズが増えてきており、23年度の受注ベースでは棟数で全体の26%、床面積で32%の実績となっている。特に、過去には対応が難しかった大型2階建物件については、22年度から販売を開始した「ネオグリッド」で対応できるようになり、順調に拡販している。

顧客である設計事務所やゼネコンから評価されている「地域に密着した営業体制」、「会員と連携したビジネススタイル」の継続と、2024年問題に対する基礎からシステム化した工期メリットにより、2024年度は、受注高・売上高ともに280億円を見込む。



建設地／宮城県亶理郡亶理町 用途／工場・事務所 商品名／ネオ 階数／1階(一部2階) 施工床面積／5,142㎡